

基本情報						
教科・科目		K1 数学I		・授業で使用するもの 教科書) 数学II Standard、問題集: 数学II+B WIDE、New Action Legend II+B 授業プリントを使用します。整理して取っておくこと。 取り組みのフィードバック、資料の共有、グラフソフトの使用のためにiPadを使う場合がある。		
担当者		秋本(発展)・岩本(標準)				
評価割合(試験:試験外)		試験:6 試験外:4		試験外評価は、単元ごと的小テストと再テスト、授業中や家庭学習の取り組みを評価する。		
年間を通じて教科で培う力		鍛錬(知識及び技能)		三角関数、指数関数、対数関数などの定義が言える。因数定理や加法定理などの定理を適用することができる。学習した関数のグラフを書くことができる。		
		理知(思考力・判断力・表現力等)		加法定理を用いて三角関数の式を計算可能な形に変形できる。不等式を示すために必要な式変形ができる。指数や対数が計算できるように底を変換したり、対数法則を用いることができる。		
		探求・観智(主体的に学習に取り組む態度)		数学の学習過程を振り返り、問題が解けなかった原因を見出せるまで諦めずに取り組むことができる。学習した問題の解法や発想を応用して別の問題に適用できる。		
学習情報						
月	回	単元名	単元目標(到達状態)	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4 5	6	多項式・分数式の計算	・二項定理が適用できる。 ・多項式の除法、分数式の計算ができる。	・3次以上の多項式の展開や因数分解、パスカルの三角形を観察し、二項定理が成立する理由を理解する。 ・多項式の除法、分数式の計算を実行する。	・講義 ・演習	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリントへの取り組み
5	8	2次方程式 高次方程式	・解の公式を適用し、2次方程式の複素数解を求めることができる。 ・因数定理を用いて、別の多項式で割ったときの余りを求めることができる。	・複素数の成り立ちを学習し、複素数同士の演算を行う。 ・因数定理の証明を通して、多項式の除法に対する理解を深め、余りが1次以上となる多項式の除法を筆算せずに求める。	・講義 ・演習	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリントへの取り組み
6	定期試験① 令和7年 6月2日ー6月4日					
6	12	式と証明	・恒等式と方程式の違いを理解する。 ・不等式を証明するために必要な式変形を使い分けられることができる。 ・自身の解答を分析し、証明の誤っている部分を修正することができる。	・恒等式と方程式の違いを見比べながら、中学校で使用してきた $=$ の意味を再確認する。 ・不完全な証明の解答を修正し、正しい証明に書き直す。 ・自身の式変形ではうまく証明できなかった理由を他者と共有する。	・講義 ・演習 ・グループワーク	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリントへの取り組み
7	定期試験② 令和7年 7月9日ー7月11日					
9 10	12	三角関数	・三角関数の定義が言える。 ・角度を弧度法で表すことができる。 ・基本的な三角関数のグラフを用いて、様々な三角関数のグラフを書くことができる。	・弧度法で表された角を用いて、円の面積や周の長さを求める。 ・同じ値となる三角比の組を見つけ出し、三角比の性質を一般化する。 ・グラフソフトを用いて、思い通りに形状が変化する三角関数をプログラミングする。	・講義 ・演習 ・グラフソフトの利用	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリントへの取り組み
10	定期試験③ 令和7年 10月20日ー10月22日					
10 11 12	12	加法定理	・倍角の公式、三角関数の合成などを用いて、三角関数の式変形ができる。 ・三角関数を含む方程式、不等式を解くために、加法定理を使い分けられることができる。 ・うまく行かなかった式変形を振り返り、その式変形が利用できる問題を検討できる。	・加法定理を用いて、倍角の公式を導出する。 ・グラフソフトを用いて、三角関数を合成した波を作り、1つの三角関数で表す方法を考察する。 ・三角関数を含む方程式、不等式について、自身や他者の誤答を修正し、うまく行かなかった式変形がうまく使うことができる問題を作成する。	・講義 ・演習 ・グラフソフトの利用 ・グループワーク	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリントへの取り組み
12	定期試験④ 令和7年 12月10日ー12月12日					
1 2	15	指数関数 対数関数	・対数関数の定義が言える。 ・指数関数、対数関数を含む方程式、不等式を解くために、対数法則を使い分けられることができる。 ・計算量が膨大な指数について、対数を利用して概要を把握することができる。	・対数関数の成り立ちを学習する。 ・指数関数、対数関数を含む方程式、不等式を解き、対数法則の良さを学習する。 ・自然現象を指数関数で表現して、常用対数表を用いて大きい数を求めることができる。	・講義 ・演習	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリントへの取り組み
3	定期試験⑤ 令和8年 3月4日ー3月6日					